

おたり

議会だより

140

2025 | October

Photo: 魂を込めて舞う—日本の伝統、獅子舞



地域一丸で守る伝統！
後世へ引き継ぐために奮闘！

特集

議員定数・報酬のアンケート結果報告

『おたりで暮らす！』移住者インタビュー



発行：小谷村議会 編集 議会広報委員会
〒399-9494 長野県北安曇郡小谷村 TEL 0261-82-2001 FAX 0261-82-2232
印刷：株式会社ブラルト



令和6年度

歳入歳出決算を認定

一般会計

歳入総額 48 億 5,189 万円
歳出総額 47 億 4,058 万円

令和6年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算を認定しました。小谷村全体で約53億円（一般会計と特別会計）弱の決算となりました。

令和6年度決算
主たる内容

【歳入】

歳入区分		内容等
村 税	5億2,537万円	住民税・固定資産税・法人税等
地方譲与税	6,280万円	国からの譲与される財源
地方交付税	22億8,623万円	普通交付税・特別交付税
国・県補助金	6億5,027万円	事業等の補助金・交付金
寄付金	1億4,733万円	ふるさと応援寄付金等
繰入金	2億5,000万円	基金からの繰入金
村 債	4億7,827万円	借入金

【歳出】

歳出区分		内容等
人件費	8億3,214万円	議員報酬・特別職一般職給料・各種手当・共済組合負担金など
物件費	7億5,104万円	旅費・維持管理経費（消耗品・燃料費・通信費・管理委託料等）
維持補修費	4億6,631万円	除雪費
扶助費	1億5,317万円	児童手当、低所得者支援、福祉医療費
補助費等	9億4,992万円	北ア広域連合負担金、白馬高校負担金、観光事業補助金、常備消防負担金など
普通建設事業費	7億9,500万円	農林施設工事、廃屋撤去工事、生活関連工事、橋梁工事
公債費	5億4,295万円	地方債元利償還金

● 令和6年度の決算特別委員会での意見（抜粋）
● 税の未収金の徴収に更なる努力を講じられたい。
● 各種基金の運用について、目的に沿った適正な運用に努められたい。
● デジタル化促進について、庁内環境整備ばかりでなく、村民に対するデジタル化促進策を講じられたい。
● ふるさと応援寄付金の返礼品について、外部企業との関わりも重要であるが、小谷村の特産品を作ること重点をおいた取

松澤米雄代表監査委員より監査結果の報告



一般会計・特別会計・公営企業会計、いずれも適正に処理されている。

● 事務・事業の執行にあたっては、法令・規則を遵守するとともに、実施事業の報告・成果の説明に努力されたい。
● 住民の足となる公共交通事業について、利用者の利便性を考慮しつつ、効率性のある公共交通施策、また費用の検討を講じられたい。
● 複合拠点施設の運営経費が高額である。運営体制についてあらゆる方向から検討し、また収入増をめざす取り組みを積極的に行うことに努力されたい。
● 里組みを積極的に講じられたい。特産品が返礼品になることを望む。

かせぐ！



- ★ 梅池自然園の維持管理 4,817 万円
- ★ 観光連盟運営の支援 6,659 万円
- ★ ふるさと応援寄付金返礼品等 5,696 万円
- ★ 山菜加工場の設備更新 3,722 万円
- ★ サンティン・雨飾荘高付加価値化工事 7,076 万円

生産性が向上した山菜加工場！

- ★ 道路除雪費用 4億2,512 万円
- ★ ゴミ等の処理費用 1億2,954 万円
- ★ 公共交通（村営バス等）対策 1億3,836 万円
- ★ 有害鳥獣対策 1,498 万円
- ★ 予防接種・各種検診に 5,504 万円

防除駆除には猟友会の協力は欠かせない！

住民のために！



人材を育てる



- ★ 白馬高校運営支援 3,325 万円
- ★ 図書館運営（図書館システム更新） 1,727 万円
- ★ 公営おたり塾運営 1,056 万円
- ★ 海外交流事業（NZ、台湾） 821 万円
- ★ 農業次世代人材育成 627 万円

中学生の国際交流は貴重な経験となる！

将来のために

- ★ 農業用水路等の改修工事 7,886万円
- ★ 橋梁補修工事（小谷橋、黒倉橋等） 2億6,131 万円
- ★ 全国草原サミット 763 万円
- ★ 水道布設替等建設工事 8,731万円

ライフラインの維持！老朽化した橋の課題も多い！



番 号	件 名	審 議 結 果
議案第46号	令和6年度小谷村下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について	可 決
議案第47号	権利の放棄について	可 決
議案第48号	村道路線の変更認定について（虫尾線）	可 決
議案第49号	村道路線の変更認定について（小土山線）	可 決
議案第50号	売買契約の締結について（小谷小中学校タブレット端末の購入）	可 決
議案第51号	令和7年度小谷村一般会計補正予算（第5号）	可 決
議案第52号	令和7年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案第53号	売買契約の締結について（指定避難所の備品購入）	可 決
議案第54号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意

◇ 請願・陳情

番 号	件 名	審 議 結 果
請第1号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情	採 択
請第2号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情	採 択
請第3号	高額療養費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める陳情	採 択
請第4号	温泉施設維持に対する特別徴収義務者への入湯税還元に関する陳情	不 採 択



9月定例会承認・議決結果

◇ 9月定例会 承認・議決結果

番 号	件 名	審 議 結 果
報第15号	令和7年度小谷村一般会計補正予算（第3号）の専決処分報告	承 認
報第16号	令和7年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分報告	承 認
報第17号	損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	報 告
報第18号	令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
報第19号	出資法人の経営状況報告（株式会社おたりアセット）	報 告
議案第33号	小谷村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第34号	小谷村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第35号	小谷村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第36号	小谷村会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第37号	令和7年度小谷村一般会計補正予算（第4号）	可 決
議案第38号	令和7年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第39号	令和7年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第40号	令和7年度小谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第41号	令和6年度小谷村一般会計歳入歳出決算の認定について	可 決
議案第42号	令和6年度小谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可 決
議案第43号	令和6年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定について	可 決
議案第44号	令和6年度小谷村簡易水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について	可 決
議案第45号	令和6年度小谷村簡易水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について	可 決

動画はこちらから ▼



沓掛の古民家飲食店 突然閉店・・・一日も早く再開を！

 あいざわ みのる
相澤 稔 議員


沓掛の古民家飲食店の指定管理者が今年9月30日までの指定期間満了をもって撤退する。撤退の説明は、8月18日、あまりにも突然ではないか。

沓村長 本年4月下旬の打ち合わせでは継続希望の意思を確認していた。しかし、8月に入り指定期間満了をもって辞めたい旨の申し出があった。これまでも誘客に向けてスキー場との周遊プラン、インバウンド客の取込みなど様々な活動をしてきたが、客足が伸び悩み、継続を断念するに至ったとのことである。試行錯誤を重ね精一杯努力してきたが、悩まれた末での決断と受け止めている。

岡指定期間3年の内、1年目は9ヶ月開業しなかった。開業後も休みが多い。施設使用料も廉価であり、営業努力が足りなかったとは考えないか。

沓観光地域振興課長 保健 所の営業許可申請、備品の



新たな指定管理者を募集予定の沓掛古民家施設

調達等、指定管理決定後は多くの調整もあったため、開業までに相当な時間を要した。また、指定管理者は、村民との交流も丁寧に行っており、決して努力不足とは思っていない。お客様第一の営業に努められたと思っている。

岡引き続きこの施設は古民家飲食店として運営すると考えるが、新たな指定管理者には何を求め、期待するか。

沓観光地域振興課長 この3年間を振り返り、評価できるところ、課題や問題点を整理、検証する。新たな指定管理者は広く募り、様々な情報を共有して取組む。

動画はこちらから ▼



全国で熊の被害が多数発生！ 被害を出さない環境へ

 よしおか ひさと
吉岡 久人 議員


岡昨年的一般質問で「管理されていない成り樹木（柿、栗等）を伐採することで鳥獣が来ない環境づくりも一つの対策と思うが。」の質問に対して、『他の自治体の対応を参考にしたい』との答弁後、その後の対策は。

沓村長 県内いくつかの町村へ状況聞き取りを実施したが、昨今の「マツ枯れ」や「ナラ枯れ」への対応が多く、明確に「有害鳥獣対策」を目的にしたものは把握できなかった。

岡この四月、飯山市で「柿、栗等の樹木伐採等の費用補助」制度がホームページに掲載されているが掌握しているか。

沓観光地域振興課長 飯山市は住宅から概ね100m以内の樹木伐採費用を支援するもの。補助率1／2で限度額3万円、本数5本まで。樹木伐採だけでなく、熊が木に登れないように根元に設置するトタンなどの資材費も対象としている。



栗などの樹木管理は必要となる

岡小学校の遠足や、11月予定の塩の道トレイルなど山道を活用する事業における、熊の防除対策は。

沓観光地域振興課長 コーサ上の糞なども事前に確認している。鈴などの各自の対策も周知していく。トレランについても、選手通過前に熊よけ対策（事前に爆竹）など対応する。

岡防除対策する猟友会員への日当支援は。

沓観光地域振興課長 検討していく。

動画はこちらから ▼



孫、ひ孫に残せる資源の活用と取組を！

 たはら ふみこ
田原富美子 議員


岡「自主財源確保」について、ふるさと納税以外での税収を確保する戦略は考えているか。

沓村長 令和5年度から定期預金での運用に加え、より利率が高く運用益が期待できる国債や県債による運用を始めたところである。資産運用益も貴重な自主財源の確保策の一つだと考えている。また、物価上昇が続いているなか、施設の使用料や手数料なども見直すタイミングでもある。

岡村の資源である文化、観光、特産品、農林産物など、価値の「見せ方」により収益が上がる可能性もあるが、資源を利用したビジネス（収入確保）への取り組みについての考えは。

沓村長 行政が担うものは、福祉事業や防災、住民窓口サービス、租税業務等々、収益目的ではない。よって、直接村が収益事業を行うことは考えていない。

岡大学や企業との連携など



保育園児はキハダの皮むきを体験！

により地域に根付いた活動を推進していく考えは。

沓村長 収益性は課題があるが、まずは小谷村を知っていたところから取り組む。

岡小谷村はキハダの栽培に適していると聞く。皮だけでなく、材も販売できるとのこと、20年30年先を見据え、管理しやすい場所での植栽、育林に努めてもらいたい。財源も森林環境譲与税を充当し事業展開することは。

沓観光地域振興課長 長期的に取り組み、先を見据えることは必要、栽培場所も踏まえ検討していく。

動画はこちらから ▼



村の借金【地方債】は！基金の有効な活用は！ 村の財政状況は適正なのか！

 ふかさわ ひでき
深澤 英喜 議員


岡過去5年間の一般会計の歳入・歳出総額は。

沓村長 歳入・歳出総額とも、45億円から50億円程度で推移している。

岡令和6年度の特別交付税・普通交付税の内訳は。

沓村長 交付税総額約22億円。内訳は普通交付税額は18億円、特別交付税額は4億円程度。

岡直近5年間の基金の残高の推移は。

沓村長 財政調整基金は5年前と比較し約7千万円、ふるさと応援基金は約2億6千万円減少している状況。

岡自治体の基金残高の目安とされる適正水準額はどのくらいか。

沓村長 小谷村の規模では、約25億円が適正水準とされている。

岡令和6年度末の地方債は。

沓村長 令和6年度末の地方債残高は約44億8千万円。地方債の80％は交付税が措置される。



ふるさと応援寄付金は塩の道・登山道の維持管理にも活用

岡令和6年度のふるさと応援寄付収入は。

沓村長 約1億5千万円。岡ふるさと応援寄付金は、村の重点活動に活用することを希望するが、使途は。

沓総務課長 ふるさと応援寄付金活用は、使途の指定があり、該当事業で活用している。

岡村税の滞納者に対する対応は。

沓総務課長 国税徴収法に基づき、滞納税金の対応を実施。

動画はこちらから▼



観光地域づくり戦略 実施計画や官民協働の推進体制が必要！

しばた ゆうぞう
柴田 友造 議員

問「観光未来づくり協議会」について、具体的な実施計画や効果検証を入れた官民協働の推進体制の取り組みが必要であると考えるが、**答観光地域振興課長** そのような方向性で進めていく。

問「観光未来づくり協議会」現在の進捗状況は、**答観光地域振興課長** 先日、若者の座談会を開催した経過ある。

問令和7年4月に公表された村政施政方針について、「検討」が11箇所記載されている。検討することが村の施策になっていないか。

答村長 方針は、令和3年から作成し公表している。「検討」は取り組み姿勢を表した。しかし、これからは「検討」の引用は考えていかなければならない。また、色々なことをしつ

り検討し、村長2期目の集大成にしていく。

問DXの取り組みについて、若者の意見を聞くことは、**答村長** 移動村長室など意見交換の機会を設けている。

問観光事業については、将来的な展望も踏まえ、観光戦略を策定すべきでないか。**答観光地域振興課長** 小

谷村の総合計画も踏まえ、観光戦略を協議会で進めていく方向で考えたい。



自然の宝庫小谷村 観光戦略のポイント

動画はこちらから▼



中学校の部活動「地域展開」 来年度からスムーズに活動できる体制を！

よこさわ たくみ
横澤 匠 議員

問小谷村は、令和7年度末をめどに、中学校の部活動を地域展開していくと公表された。どのような議論をして、部活動を地域で実施することになったのか。**答教育長** 令和4年から当時の中学校長が中心となりスポーツ指導者も交え議論し、令和6年度に地域移行することに決定した。

問保護者など関係者に対する説明などは実施したのか。**答教育長** 中学校では部活運営委員会において、地域へ移行していくことに共通理解を図った。保護者へは、PTA総会で方針を説明し、理解をいただいた。

問文科系の「吹奏学部」の受入団体はあるのか。**答教育長** 吹奏楽部においても、総合型地域スポーツクラブに吹奏楽クラブを設置することを考えている。新たに活動する組織として設置をする。

問大会などの申し込みや事務などは、誰が行う予定か。



来年度の部活動は、地域スポーツへ変わる！

保育士の確保！

問物価高騰や賃金の上昇の影響を配慮しつつも、保育の質を維持することが必要だが。**答教育長** 保育の質を低下させないよう職員配置や、給食材料費や保育資材の確保をしつかり対応している。

問保育士の確保が課題であると聞くが、保育士の対策は。**答教育長** 園児数に対しては規定どおり確保している。休暇などもあるので、不足の場合は対応したい。

不登校支援を！

問不登校の子どもたちへの支援として「居場所づくり」の対策は。**答教育長** 学校や社会福祉協議会で支援・対応をしている。また、子育て支援センターでも相談を受け付けている。

問不登校の児童の保護者に対して「介護休暇」の対応は。

持続可能な農業と 集落支援策は

答村長 介護休暇に該当するかも踏まえ対応可能か検討する。

問農業は、農村形成や集落存続基盤である。中山間地の農地保全に打つ手は。**答観光地域振興課長** 条件が悪い農地の効率化が課題。「地域計画」に見直しをかけている。

問担い手や小農家など、あらゆる関係者が総がかりで「農業会議」を行うべきでないか。**答村長** 大事なこと。会議をもつこととする。



中山間地域の農地をどう守るか

行政用語を解説！

行政が使う用語って普段聞き慣れないことがたくさんあります。簡単に行政用語を解説します。

【総合計画】

将来どのような村にしたいかを示すビジョン。目標を示す『基本構想』、具体的な施策を示す『基本計画』、具体的な事業を示す『実施計画』の三層で構成される。

【自主財源】

村が自主的に収入できる財源のこと。村税（住民税・固定資産税・入湯税など）使用料、寄付金などが含まれる。自主財源の割合が高いほど財政は安定する。

【指定管理者】

公の施設の管理運営を民間企業などに包括的に代行させるために

指定する団体のこと。民間企業のノウハウを活用し、住民サービスの向上を図ることを目的としている。

【交付税】

自治体間で生じる財源の差を埋めるために、国が地方公共団体に配分するお金。行政サービスを行うことに必要な経費に対して差額を補填する『普通交付税』と災害など特別な事情で生じた財源需要に対応するための『特別交付税』の2種類がある。

【DX(デジタルトランス フォーメーション)】

デジタル技術を活用し、ビジネスや社会のあり方を変革すること。人口減少など社会の課題に対応するためにデジタル技術を活用することを目指す、持続可能な社会の実現に向けた取り組み。

行政の用語ってむずかしいですね。行政関係者ならともかく、一般の住民はとても理解しにくいと思います。「もう少しわかりやすい説明を！」との意見は多く聞かれます。行政や議会は村民にわかりやすい言葉での説明がとても大切です。これからも、ともていねいな表現を心がけるよう努力していきます。

動画はこちらから▼



保育士の確保は大きな課題！ 保育の質を落とさない対応を期待！

そね はらけいこ
曾根原恵子 議員



議員定数・報酬に関する村民アンケート報告

アンケート総会回答数 145名



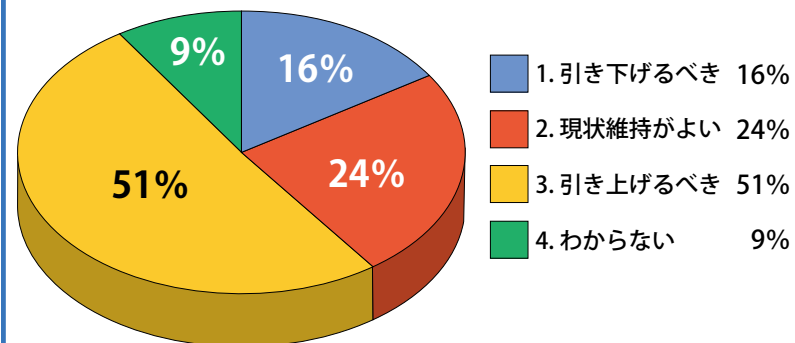
8月26日から実施した「議員定数・報酬における村民アンケート」について、多くの方からご協力いただき9月30日をもって回答を締め切らせていただきました。また貴重な意見をいただき、感謝申し上げます。ここでは、アンケート結果を報告します。

コメント（アンケート回答者から）

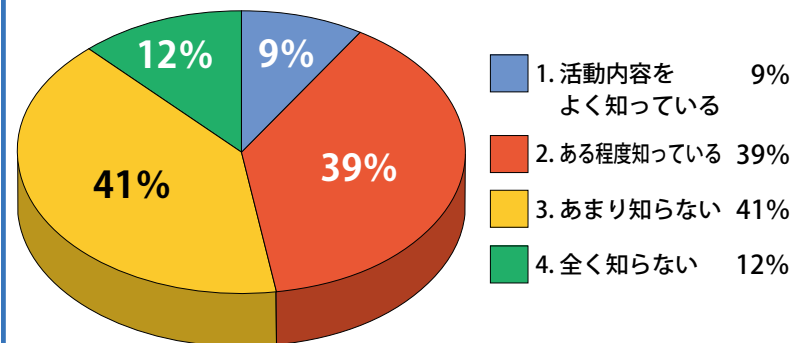
- ★報酬を上げてしっかり若い人材を確保すべき。アイデア、実行力のない年配議員を集めても結局何も変えられていない。
- ★議員報酬を引き上げ、若い世代が議員活動に専念でき、少子高齢化社会について、執行機関側に刺激を与えるような体制を構築できるようにしていただきたい。
- ★若い人でも立候補、政治参加できるように報酬を上げるべき。現在の報酬は一般企業の高卒以下。こんな額では定年以上の年齢の人しか手を挙げないし、現存議員さん達もやり甲斐を見失う。ただの押し付け議員になってしまう。
- ★こんなに低い報酬では、将来議員のなり手がなくなります。

アンケート結果を踏まえ！
議員定数・報酬等調査検討特別委員会では、引き続き定数や報酬の見直しの必要性について今後も議論していきます。
特別委員会の柴田友造委員長は、「貴重なご意見を参考に、さらに地域特性を加味した議論をしていきたい」とのことです。
なお、アンケート結果の詳細とご意見は、報告書としてまとめ、後日公表をします。

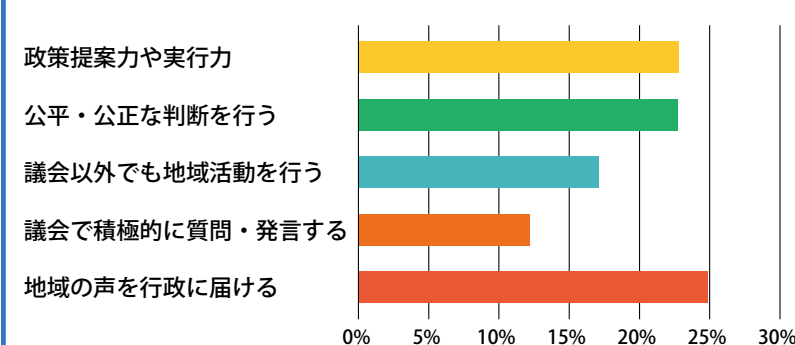
Q4. 議員報酬について、今後どうするのがよいと思いますか？



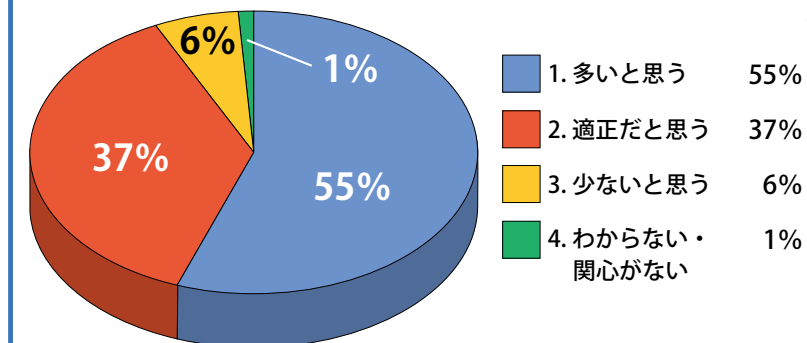
Q5. 議員の活動状況について、どのように感じていますか？



Q6. 議員に求める役割・姿勢として、重視するものは何ですか？（複数選択可）



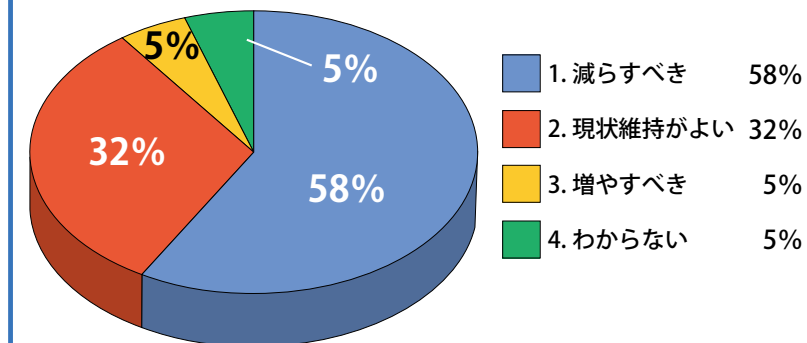
Q1. 現在の議員の定数（10人）についてどう思いますか？



議員定数についての質問では、現状の10人が多いと思う意見が55%でした。10人が適当であるとの意見は37%。

今後は定数を減らすべきという意見は60%近くになっています。

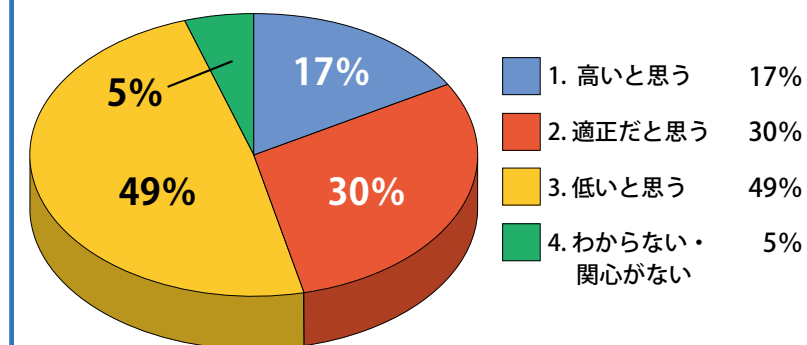
Q2. 議員定数について、今後どうするのがよいと思いますか？



コメント（アンケート回答者から）

- ★議員定数削減。選挙にならないと良くないと思う。
- ★地域代表当番みたいな議員やサラリー目的の議員は不要だと思います。小谷村を大切に考える若者が出てくれないかな。
- ★議員を減らすことで、一人頭の報酬を上げ、政策への取り組みをしてほしい。
- ★村民が『これが小谷の村議です!!』と、紹介出来る方が担ってほしい。現状は……
- ★地区民生員さんと同様の活動から、地域の声を身近に認識し感じ取ってほしい。
- ★政策をしたい者の組織にすべき。コンパクトで十分です。

Q3. 現在の議員報酬（月額185,000円＋期末手当等）について、どう思いますか？



喜多方合同庁舎雪冷房システム（福島県喜多方市）



雪を貯蔵する施設（雪室）

福島県喜多方市の県の合同庁舎。冬期の駐車場の雪を保存し、夏場の冷房に利用しています。

小谷村ほどの豪雪地帯ではありませんが、除雪作業が欠かせない地域とのことです。冬季の雪を貯蔵する「雪室」は、床面積226㎡、573tの雪を貯蔵し、雪解け水（約3～5度）を庁内の冷房に利用する取り組みです。



駐車場の除雪された雪を保管

「排雪から利雪へ！厄介な雪が冷房の熱源へ！」
地域の特性を活かした取り組みでした。

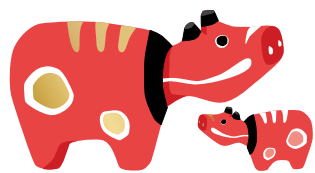
庁舎の屋上には太陽光パネルも設置されており、冷房に利用する動力電源を確保していました。

JR只見線（会津若松～新潟小出を結ぶ全長135kmの路線）

只見線はJR東日本の管理する路線です。2011年に豪雨により会津川口～只見間の27.6kmが被災しました。

復旧とその後維持管理について、福島県とJRとの協議で、「只見線上下分離方式」が導入されました。

- ・上部→列車の運行をJR東日本
- ・下部→線路など施設の維持管理管理は福島県（費用負担は県70%沿線自治体30%）



会津坂下から滝谷駅までの区間ですが、只見線に乗りってみました。地域と民間が協力して運行する路線とのことです。



上下分離方式で運営する只見線

柳津西山地熱発電所（福島県柳津町）



柳津西山地熱発電所

東北電力（株）が平成7年に運転を開始した地熱発電所。地熱発電は地下のマグマ溜りの熱で作られた蒸気を利用し発電するものです。

地熱発電の仕組みや環境への配慮などの説明を受け、さらには発電所内の見学も行いました。

発電所内には、従業員は不在で、すべて本社等で遠隔管理しています。異常があった際に直ちに対応するとのこと。小谷村北野でも、地熱調査を実施しています。地熱発電の奥深さを感じました。

小谷村で活かせないか！

～議会先進地視察報告～



7月上旬、小谷村議会では栃木・福島方面へ行政視察を行いました。環境や風習、地域の特色は違いますが、先進地から学ぶことが多々ありました。

野洲麻紙工房（栃木県鹿沼市）

全国の9割以上を占める麻の栽培地の栃木県。しかし、栽培する農家の減少は避けられない状況です。

野洲麻紙工房は、「野州麻」を栽培し400年、現在8代目の大森芳紀さんが案内してくれました。

麻の栽培は県知事許可が必要で、限られた地域でしか栽培できません。また、播種や刈取は手作業、また収穫後の湯かけ（殺菌処理）や乾燥も手間がかかります。



野洲工房 8代目の大森さん



栽培されている麻

「最近では学生や若い人の体験が多いんですよ！」と外からの労力も活用しているそうです。

間もなく収穫される畑も案内してくれました。

【伝統と技術の継承】粘り強く伝統を引き継いでいくことの貴重さが伝わりました。

大内宿（福島県下郷町）

国指定の重要伝統的建造物群保存地区の「大内宿」は、江戸時代の宿場町の形態を今に伝える貴重な集落。約30軒の茅葺き屋根が街道沿いに並んでいます。「この街並みを残せた最大の要因は火災を出さなかったこと」とのことです。

そして、毎年3軒ほど茅葺き屋根の葺き替えも実施（茅は長野県などから購入）しています。

また、大内宿観光協会の副会長さんのお宅も見学させていただきました。殿様が宿泊した部屋、その奥には武士が待機し、いつでも守衛できる構造の部屋もありました。

観光客は年間100万人（R6数値）、集落から出て行く人もいるが、逆にUターンして家を継ぐ若者も多いとのこと。

それぞれの家に伝承された伝統を守り、集落一丸となって大内宿の保存に力を合わせていることが伝わりました。



茅葺き屋根が並ぶ大内宿

おたりで暮らす



田舎暮らしに関心のある方が増えていま
す。小谷村でも、ここ数年移住を希望される
方が増加しています。小谷村に移住した2
組に、移住インタビューを実施しました。

移住者も やさしく 受け入れて くれる 小谷村！



前川卓也さん(池ノ平)
愛知県から令和2年に移住
妻と長男(2歳)と3人暮らし



小谷村と農業の魅力に 惹かれて！

小谷村池ノ平地区で暮ら
す前川卓也さん。6年前に
愛知県から小谷村へ移住し
ました。当初は柵池の村営
住宅で過ごし、村内の農業
法人で勤務の傍ら、農業を
学びました。

徐々に農業の奥深さに魅
了され、池ノ平や平間地区
で農地を借りて、農業を営
み始めました。現在、ジャ
ガイモやサツマイモ、ネギ
など50アール近い畑で作物
を栽培しています。

あたたかく迎え入れて くれる！

10年以上前からスノー
ボードで小谷村を訪れてい
ました。「小谷村の自然が
豊か！」が小谷村の印象だ

そうです。でも最も感じた
ことは、「村の人のあたたか
さ！」とのことでした。
生活や農業などあらゆる
ことに、ご近所や先輩方の
アドバイスや指導をいただ
いてきました。



移住する前は、車の整備
士として働いていました。
しかし、小谷村では生活や
仕事も全く異なるので、日々
勉強です。「失敗もあるけど
チャレンジしていきたい！」
この気持ちで頑張ってい
ます。

地域の景観を守り地域に 貢献したい！

「田んぼもやりたい！し
かし営農機械がないので、
共同機械利用など、新規就
農者を取り組める
仕組みが欲しい！」
と意見してくれまし
た。地域の農地や
景観を守る、そして
地域に新しい風を吹
き込む。そんな取り
組みは、地域のバッ
クアップが欠かせま
せん。地域と共に
歩む今後
に期待し
ます。



お気に入りの小谷村の風景！



地域みなさんが子育てを応援！



育て環境が素晴らしい！
と話してくれました。

子育てを地域が見守る 土谷地区に住みたい！

子どもの成長につれて村
営住宅の手狭さを感じ、「小
谷村で一戸建て」を決意し
ました。何度もイベントで
訪れた土谷地区で物件を相
談したところ、地元の方が
すぐに物件を紹介してくれ
ました。

「修理が必要
でも、自分で



きる」ニルトンさんは大工
です。
古民家を取得し、賑やか
な生活をしていました。

物価高など生活が変化 子育てに影響が！

土谷地区は地域全体で子
どもを見守ってくれます。
「地区の行事には子どもが一
緒になって参加できとても
楽しく遊ばせてもらってい
ます」と地域への感謝も語っ
てくれました。

しかし、現在の急激な物
価高については「厳し
い」との声も。

「物価高が子どもの
活動を奪わなければい
いけど」少なからず影
響があることも心配し
ています。「安心して子
育てできる村に！」と
希望を意見してくれま
した。

アンドラデ・パチスタ・ニルトンさん、カミラさん(石原)
愛知県から令和元年に移住
子ども5人(11、9、7、6、1歳)の7人暮らし

住むなら土谷地区！ 住民が見守る環境

ニルトンさんの弟が柵池
高原に住んでいる関係で、
小谷村へ遊びに来ていまし
た。訪問するうちに「小谷
村へ住みたくなった！」と
思い、村営住宅での移住生
活が始まりました。子育て
ママさんが集う「おさんぽ
会」へ参加し、多くの村民
と交流する機会があり「子



自宅の庭では、ニワトリを飼育、子ども達も
面倒みます！

移住相談件数の推移

移住相談件数は年間40~60件。
うち年2~4世帯が小谷村へ移住する状況。
移住相談者は物件や地理、生活環境なども考慮し、
複数市町村の物件と比較するケースが多い。
小谷村への移住を希望する場合は、知人の紹介な
どで物件を探すことも多い。(集落支援係資料より)



	移住相談 件数	移住者	
		人数	世帯
R3	50	4	2
R4	33	9	4
R5	42	2	2
R6	61	4	3

小谷村で森林セラピー

～菊川市議会が訪問～

7月30日から2日間、菊川市議会総務建設委員会が小谷村を訪問しました。目的は、小谷村の観光事業への取り組みの視察でした。「桐池自然園」を散策、また交流型観光として「伊折ゆきわり草」も見学しました。2日目は自然を活用した取り組みとして鎌池での「森林セラピー体験」も実施しました。森林セラピーガイドの太田由美さんが案内しました。森林のもつ五感を刺激する効果を感じられたことでしよう。坪井委員長は「貴重な体験と小谷村らしさを勉強できた。」とのこと。



森林セラピーを体験!

大綱峠を歩きやすく!

～塩の道の大綱峠の補修作業～

塩の道の大綱峠の課題であった「ぬかるみ」の修繕作業を役場職員と同行して実施しました。常にぬかるんで泥だらけになる箇所を手作業にて補修しました。

ツルハシやスコップ、杭などを担ぎ上げ、現地では側溝掘り、歩道の確保を実施し歩きやすい塩の道を確保しました。参加した柴田・吉岡議員からは、「塩の道の維持の大変さを理解した。でも守らなければならぬ道である!」と感想を述べられました。



塩の道の補修活動に参加!

伝統の獅子舞を見事に演出! 地域との絆も深まる!

表紙のひと トーマス・ケレットさん(下里瀬)



トーマスさんと桃芽さん夫婦

9月のお祭りシーズン、各地域で伝統芸能がお披露目されます。とりわけ獅子舞は、祭りの主役です。「獅子が四隅を廻り舞台を清める!」とも言われます。

獅子頭を脱いで、汗びっしょりの満足そうな顔を見せたのは、トーマス・ケレットさん。今年の下里瀬の獅子舞を初めて担当しました。練習から、とにかく一生懸命に学ぼうとする姿が印象的です。

「日本の文化は興味があるし、獅子舞も楽しい!」と満足げに話して

くれます。

オーストラリア出身、下里瀬へ転居し約2年、獅子舞にチャレンジし、祭りをとおして地域住民との親睦も深めることとなりました。

サーフィンとスノーボーを楽しみながら、田舎暮らしを満喫しています。

「おたり大好き!」



編集後記

9月22日の地元紙の朝刊、「中央アルプスの西駒山荘で初氷が確認された。」との掲載があった。昨年より19日も早いとのことである。冬の足音が聞こえてくる記事である。

それにしても、今年の夏はとて暑かった。日中は言うまでもないが、夜になっても、全くと言っていいほど気温が下がらなかった。お陰で我が家ではビールの消費量が大幅に増えた。それでも9月になり、稲刈りが進み、お彼岸の頃は朝晩、肌寒い陽気になってきた。

「暑さ寒さも彼岸まで」よく言ったものである。さらに夕暮れが随分早くなった。秋の夜長に読書でもと考えることもあるが、なぜかお湯割りグラスを持っている。



(広報委員 相澤 稔)